

# 平成14年度実施事業 詳細評価シート

担当部課	企画財政部市民の声を聴く課	直通電話	72-3153	事業コード	601030106	課内	6	作成日	平成15年8月11日
	担当者		成田 和幸	担当課長		津川 定昭		担当部長	野 昭夫

## 1 事業のアウトライン

1) 事業名	ホームページ運用事務	開始年度	H8	終了年度	未定
		最近の事業内容見直し年度			
2) 総合開発計画での事業体系	施策コード 6010301 大項目 / 小項目 / 細項目 市民参加システムの確立 / 広報活動の充実				
3) 個別計画での位置付け	行政改革大綱(市役所情報発信システムの確立を図ること)				

## 2 事業の内容

1) 事業の目的 何のために	行政と市民の間における市政に対する認識の差をなくすため。
2) 目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	コストの許す範囲内において、必要な人に必要な情報を提供するように。
3) 事業の方法 どんな手段を講じるのか	ホームページ(以降、HP)の利点である「即時性」を生かすため、掲載内容を随時更新している。 具体的には、「広報いしかり」掲載記事の再掲、各課からのお知らせ記事の更新、緊急性を要する記事の臨時掲載など。
4) 14年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	札幌広域圏組合主催の「ホームページ講習会」を石狩市庁舎内で職員向けに開催した。これは、各課からのお知らせページなどの更新能力向上を目指したものである。
5) 事業の背景・社会状況・他の類似事業など	インターネットの普及に伴い、月刊広報紙にとどまらず、新たな広報広聴媒体として市HPを1996年(平成8年)8月に開設した。H11年度末までは運用更新を外部委託していたが、H12年度からは情報管理課が自己運用し、記事内容更新を広報係が担当することとなった。
6) 事業の立案や実施などへの市民参加	特になし
7) 評価中間公表への市民意見	総合評価のコメント内容から判断すると「B」評価は疑問。解決策方針をある程度示す努力も必要である。

## 3 事業に投入した行政資源

項 目	H12	H13	H14	H15 予算	H14 事業費の主な内訳	金額(千円)
1) 直接事業費(千円)	0	0	296	0	パソコン購入経費     H14 主な特定財源の内訳 金額(千円)	296
2) その他の間接経費(千円)	3,234	2,877	5,851			
3) 従事正職員の人件費(千円)	4,108	12,434	12,351			
総事業費(1~3の合計;千円)	7,342	15,311	18,498			
総事業費中の一般財源(千円)	7,342	15,311	18,498			
市民一人当たり一般財源使用額(円)	133	276	331			
事務に従事した正職員のべ人数	0.50人	1.50人	1.50人			

## 4 事業活動の結果

事業活動の結果を示す指標	H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法
ホームページの更新回数(回)	目標値	未設定	未設定	未設定	要請に応じて掲載記事を随時更新しているので目標値は設定できない。
	実績値	549	1,191	2,729	
	達成率				
ホームページのページ数(頁)	目標値	未設定	未設定	未設定	要請に応じて逐次ページ展開するため目標値は設定できない。
	実績値	270	1,178	1,200	
	達成率				
	目標値				
	実績値				
	達成率				

## 5 事業の成果

事業名：ホームページ運用事務

事業の成果を示す指標		H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法	確認方法
インターネットの活用度(アクセスカウント数)(件)	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定	インターネットを使って市政などの情報を取得した件数。実績値は、石狩市HPの各年度毎のアクセスカウント数。指標の性質上、目標設定は出来ない。	情報管理課調べ
	実績値	39,500	93,225	100,500	目標レベル		
	達成率				未設定		
	最終目標	年度に					
	目標値						
	実績値				目標レベル		
	達成率						
	最終目標	年度に					
	目標値						
	実績値				目標レベル		
	達成率						
	最終目標	年度に					

## 6 事業の観点別評価

1) 事業活動の状況	[課長評価]	極めて良好	概ね良好	一部問題あり	大きな問題あり
[評価ポイント] 活動結果や活動効率、事業改善等の効果はどうだったか	HP開設以来、毎年閲覧者の数が増加し続けており、それに比例して更新頻度、ページ数いずれも増加の一途をたどっている。				
2) 有効性・必要性	[課長評価]	有効かつ必要	有効性に疑問あり	必要性に疑問あり	ともに疑問あり
[評価ポイント] その事業は事業目的の達成に効果があるか、また、市民(対象者)に必要とされているか	ホームページは、行政から市民に発信する多様な媒体の一つとして位置づけている。インターネットを活用する人たちにとっては必要かつ有効な媒体であると判断する。				
3) 市関与の妥当性	[課長評価]	極めて妥当	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
[評価ポイント] その事業に市が関与する必要があるか、市がどこまで関与するのが適当か	市からの情報提供を主たる目的に開設されているものであるため市が関与するには一定の妥当性有りと判断する。				
4) 事業内容の妥当性	[課長評価]	極めて妥当	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
[評価ポイント] 目指す成果を挙げるためには今の事業内容が適当か、受益と負担の関係に不公平はないか	必要な人に必要な情報を提供することを目的としているところだが、HPは常に進化を続けているものである。利用者からの要請に努めて応じるよう対応していることから、極めて妥当な事業内容と判断する。				

## 7 平成14年度事業の総合評価

[評点の意味] A: 極めて良好 B: 良好 C: 可も不可もない D: 問題がある E: 大きな問題がある	[課長評価]	B	[最終評価]	C (前年度)
	アウトソーシング(外部委託)による事業展開が可能かどうか研究の余地がある。 その研究課題の中には、システムセキュリティ(情報機密の保全性)面での課題や掲載記事更新の柔軟性など、ハード面ソフト面いずれも課題が多数山積している。		システムセキュリティの確保に万全を期すためには常に問題意識を持つことが重要である。また、分かり易い情報となっているか、求める情報を容易に導き出すことができるかなど、情報発信のバリアフリー化への取り組みとしては改善の余地がある。(コンテンツの整理が必要)	

## 8 今後の方向性・課題

担当課長評価	石狩市HPを閲覧している者に対して、当該HPの長所・短所並びに改善要望点などについてアンケートの必要があると考える。
最終評価	市民意見を聴く機会の拡大や情報バリアフリーの視点を常に意識すべきである。

## 9 平成16年度の方向性

事業規模	* 担当課長 最終評価			事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し	現状維持	一部見直し	大幅見直し
拡大方向						
現状維持				*		
縮小方向						
統合						
休・廃止						
上についての説明	アウトソーシングの可能性について、さらに調査検討を進める。					